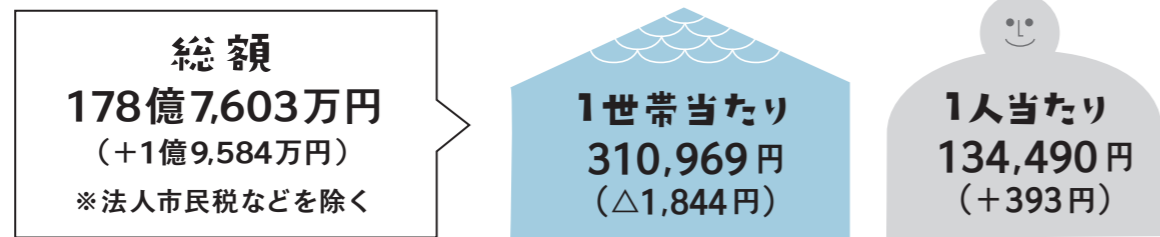
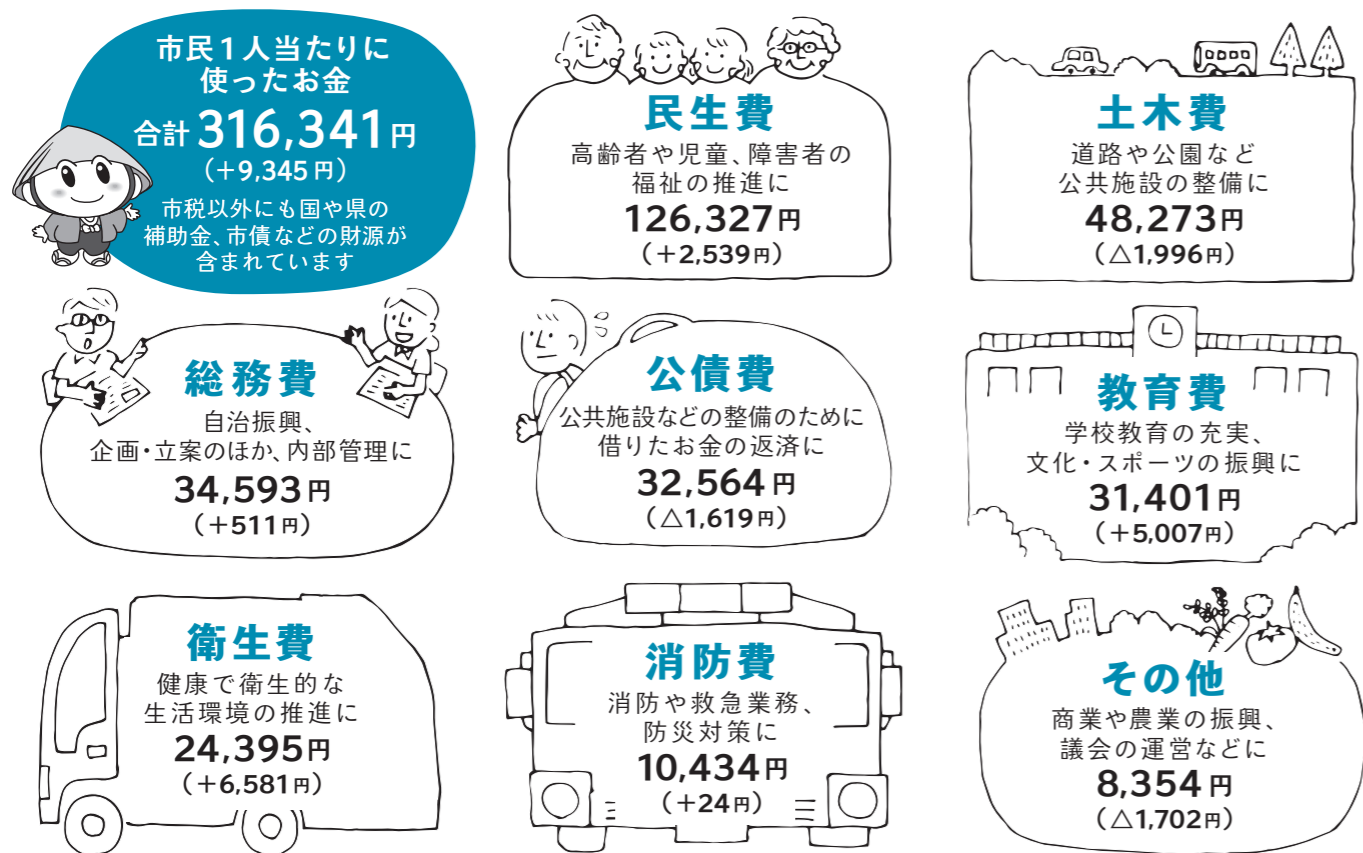


市税の負担 ※()内は前年度比増減額



昨年度は単身世帯の割合が増え、1世帯当たりの負担は減少しています。

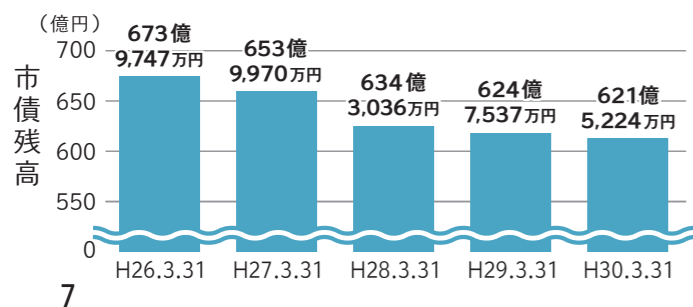
市民サービスにかかった経費



市債残高(長期借入金)

市が道路や学校、下水道などの施設をつくる場合、市債(市の借金)を財源の一部として活用しています。市債には、応急的な財源確保のほか、長期にわたって返済することで世代間の負担の公平性の確保を図る目的があります。

一般会計と特別会計の市債残高の合計は、次のとおりです。



市の財産

基金	168億9,323万円
出資金	7億6,781万円
有価証券	2,831万円

建物(延べ床面積)	371,622㎡
土地	1,715,274㎡

※基金
市の預金。各年度の財源を調整するための財政調整基金や、将来の大きな支出に備えて積み立てる特定目的基金など

※出資金・有価証券
主に公営企業(水道・下水道事業会計)や、市と民間が共同で設立した事業体(第三セクターなど)へ出資したお金



くさつの家計簿

平成30年3月31日時点
人口 132,917人
世帯数 57,485世帯

問 財政課(3階、☎561-2304、FAX561-2483)

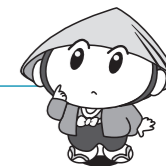
3月末時点の平成29年度の収入・支出や市の財産、市債残高の現況をまとめました。

市の会計年度は、4月から翌年3月までです。3月末までに確定した債権と債務については、受け入れと支払いの手続きを完了するため、出納整理期間(翌年度の4~5月)を設けています。

そのため最終の決算額は、出納整理期間の収入額と支出額を加えた額になります。平成29年度の最終の決算額は、広報くさつ12月1日号でお知らせします。

平成30年3月31日時点の平成29年度の収入・支出

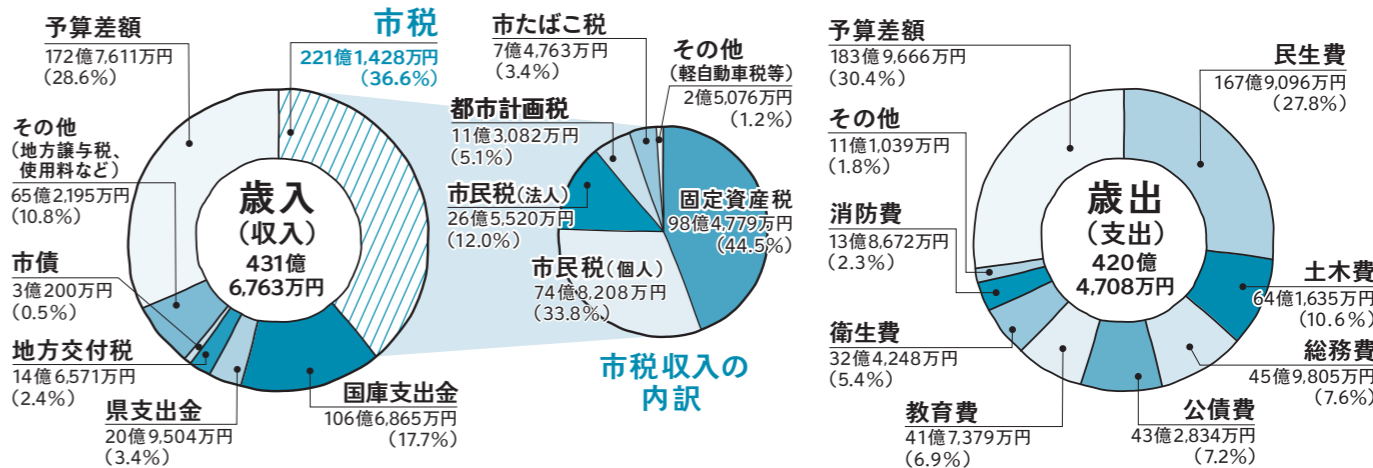
※四捨五入の関係で、値が合わない場合があります



一般会計 市の基本的な行政運営を行うための会計です ※()内は総額に占める割合

歳入予算総額：604億4,374万円
収入総額：431億6,763万円(収入率71.4%)

歳出予算総額：604億4,374万円
支出総額：420億4,708万円(執行率69.6%)



用語の解説

- 市税: 市に納められる税金
- 国庫支出金: 市が行う特定の事業に対して国が支出するお金
- 県支出金: 市が行う特定の事業に対して県が支出するお金
- 市債: 多額の費用が必要な場合などに行う市の借金
- 地方交付税: 市の財政状況に応じて国から交付されるお金
- 地方譲与税: 国が国税として徴収し、市に譲与されるお金
- 予算差額: 翌年度へ繰り越している額や、出納整理期間中に収入・支出が見込まれている額などを含んだ額

特別会計 市が特定の事業を行うための会計です

〔会計別予算と執行額〕

国民健康保険事業	123億7,807万円(88.6%)
139億6,597万円	117億9,532万円(84.5%)
介護保険事業	71億1,581万円(88.7%)
80億2,285万円	63億9,466万円(79.7%)
後期高齢者医療	11億9,819万円(91.0%)
13億1,679万円	12億5,819万円(95.6%)
学校給食センター	5億3,626万円(91.2%)
5億8,822万円	3億5,440万円(60.3%)
駐車場事業	7,403万円(62.6%)
1億1,834万円	6,702万円(56.6%)

特別会計名	上段	支出済額(執行率)
予算額	下段	収入済額(収入率)

財産区	8,374万円(98.0%)
8,541万円	8,369万円(98.0%)
水道事業※	21億8,878万円(98.4%)
支出:22億2,418万円	26億1,610万円(100.9%)
収入:25億9,354万円	
下水道事業※	36億1,377万円(98.0%)
支出:36億8,724万円	39億9,680万円(99.3%)
収入:40億2,623万円	

※収益的収支を計上